

令和5年度 崎辺中学校 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

1 学校名・所在地及び校長名

佐世保市立崎辺中学校 佐世保市天神町1706番地 校長 岩波 直

2 学級数と生徒数

1学年	3クラス	81名	
2学年	2クラス	82名	令和5年5月1日現在
3学年	2クラス	72名	計10クラス 235名
特別支援	3クラス	8名	

3 本年度の「特色ある学校づくり」の取組

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 花いっぱい活動 | (4) 福祉体験学習 |
| (2) 講演会 | (5) 標準学力検査 |
| (3) 職場体験活動 | (6) その他 |

4 実践内容

(1) 花いっぱい活動

崎辺中学校で、毎年取り組んでいる活動である。この活動により、情操的な教育活動や環境教育活動が展開でき、生徒に自然を愛し生き物を大切にする心を育てたい。



(2) 講演会

地域の方や外部からの講師を招聘し、講演会を実施した。直接、印象に残る話を聞くことで生徒の意識に残ったと感じた。また、集団で聞く姿勢や感想とお礼を書くことで礼儀の学習にもなっている。講師の方々とのつながりもできた。

- ① 7月19日 性教育講演会（1，2学年）
・・・長崎県看護協会
- ② 10月13日 マナー講座（2，3年生）
・・・菅公学生服株式会社
- ③ 11月15日 薬物乱用防止教室（2学年）
・・・佐世保ライオンズクラブ
- ④ 11月21日 デートDV防止教室（3学年）
・・・国際ソプロチミスト佐世保



(3) 職場体験活動

生徒自身が将来関わる一般社会を実際に体験することで、自ら課題を見つけ、考え主体的に判断し、社会の変化に対応しながら問題を解決していく資質や能力を育成することをねらいとし、コロナ禍を経て3年ぶりに実施した。中学生の主体的な社会体験を支援することにより、共に生きる力・感謝の心・豊かな感性や創造性・自立心等を育むとともに、自己の生き方について見つめさせる有意義な学習となった。



(4) 福祉体験学習

地域の方々への感謝の気持ちを伝える掲示物を作成して、お年寄りとの間接的な交流活動を行った。

(5) 標準学力調査

全国学力、県学力、市学力検査後の学力向上の検証として、1月に2回目の「学力調査」を1、2学年で実施して1年間の学習状況を分析した。これを踏まえ、次年度に向けて、残りの授業を見直し、学力の向上に効果的な学習指導の一助とした。



(6) その他

教育相談活動を充実させるため、相談員の来校回数を増やし、多くの生徒が落ち着いた気持ちで学校生活を過ごせるように、相談室の運営計画を見直し改善した。

5 成果と課題

コロナ禍で昨年度までは実施が難しかった体験活動の取組も、従来の形で実施することができ、生徒にとっては貴重な学びの機会となり、活力ある学校生活を送ることができた。標準学力検査の結果をもとに、生徒の理解状況と学び残しを把握し、年度後半の授業改善や日々の指導に役立てるとともに、家庭学習への支援につなげることもできた。また、間接的な地域との交流を通して、学校と地域のつながりも深めた。さらに、学校生活に不安を抱えて過ごす生徒にも手立てを講じ、不登校の解消や生徒の問題行動の未然防止につなげた。生徒は学校教育目標がめざす生徒像に近づいたと考える。

今後の課題としては、生徒の基礎基本の学力の定着を図るために、主体的に学習に取り組む環境づくりとそれを実践するための研修を深め、更なる学力向上につなげていきたい。また、学校評価の結果を受けて、心豊かでたくましく、落ち着いた生活ができるように、様々な取組を仕組んでいきたい。